

水産業強化支援事業事後評価結果

長崎県水産部水産経営課

政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		経営構造改善目標	30-3
事業実施主体		美津島町西海漁業協同組合	
実施地区名		対馬市美津島町竹敷地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		7,975千円	
事業計画の内容		<p>既存施設は冷却能力不足（-14℃）のため冷凍餌の製造ができず、入出庫作業時の扉の開閉により冷気が外部に漏れ、庫内温度が上昇することによる冷凍焼け等が発生し、餌品質の維持に影響が出ている状態であった。</p> <p>そのため、庫内温度の維持機能や冷却能力（-25℃）を強化することにより、地元の未利用魚を活用した安価な冷凍餌の供給により管内養殖業者の経費削減を図ることを目的として冷凍施設の改築を実施した。</p> <p>鮮度保持施設（冷凍施設） 電動扉取付工事 一式 冷凍機・冷却器据付工事 一式</p>	
評価	成果目標	養殖業者1人当たり平均漁業所得975千円/年の向上を図る	
	現状値 (A)	●●●●千円/年（令和3年度末時点） 対目標値 [=A/B] 9%	
	目標値 (B)	●●●●●千円/年（令和3年度末）	
	(1) 現状値の説明	<p>成果目標の達成状況としては、当地区の主要漁業であるクロマグロ養殖漁業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、魚価の低迷が発生した。また、定置漁業者から安価なサバを生餌用として仕入れる予定であったが、漁獲量が少なく不足が生じたため、価格の高騰している冷凍餌を使用したことによる経費も増加した。</p> <p>これらの要因により、漁業所得も低調となり、目標値を大幅に下回る結果となった。</p>	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	<p>冷凍施設の利用状況は運営計画と比較し、冷凍餌については約120%、生餌については原料となるサバの品不足により低調となっているが前年度までは約110%となっており、餌の品質維持や向上を図ることができた。</p>	
(3) 所見	<p>平均漁業所得は、新型コロナウイルス感染症拡大による魚価低迷等の影響が顕著に現れている。</p>		
(4) 評価機関への意見等			
今後の改善方向等に関する分析		<p>今後の動向を注視しながら、近隣の定置漁業者や漁連等の関係機関と連携し、成果目標の達成に向けて検討を進めていく。</p> <p>具体的には、漁協及びクロマグロ養殖業者が近隣の定置網漁業者や漁連を招いて定期的に協議し、時期的に漁獲される地元産のイワシを優先的に漁協へ提供してもらう体制づくりを行うことで、漁業所得の向上を図る。</p>	